夕刊
磐城新聞
十二月六日發行
定價 一部金五錢 一ヶ月金六十五錢(郵稅拾五錢)
廣告料 普通一行金六拾錢 特別一行金九拾錢(場所指定一行一圓五拾錢)(五號十二字詰)
編輯印刷兼發行人 鈴木[illegible] 福島縣石城郡平町田町十六番地
發行所 磐城新聞合資會社
營業受付電話(タイライワキ) 平局私書函第十二號 電話五六四番
(日曜祭日翌日休刊)
東京振替一〇八・五五六五番

天氣豫報

小名濱測候所發表

今晚は北西の風晴

明日は北西風晴一時曇

赤羽松堂翁追悼句集

下

○淋しさや主亡き庵のつるし柿　晚霞

○いまさらに北斗わびしき霜夜かな　朝忠

○北斗莊の庭燎ゆらめく夜寒かな　つや女

○凪の日の音もおちざる落葉かな　巨湫

○うそのごときまことにあひし夜ぞさむき　艸丘子

○散りのこる紅葉かざしてゆかれけり　向冬

○いよゝ濃き北斗のかけの寒けなる　隅川子

○時雨るゝや淋しく鎖ざす片折戶　柴子

○小夜時雨北斗の光り掩ひけり　北窓

○霜枯にわびしき庭や北斗莊

○起ひますや芭蕉のみとり褪る冬　蘭外

○咲ききつた花と見わぬを落椿　晚霞

○冬牡丹散りけり心晴うしぬ　文參

○枯色のものしづかなる御命日　世遊

○水霜のごとき命であられしか

○木枯や佛界の巨星不時に落つ　臨城

○居寒し鄕く北斗仰ぐとき　磯冬

○霜の發曉の夢やふれけり　白牛

○庭菊のひと夜の雨にしすれたる　滿壽莊

○紅葉散りて野山さびしうなりまさる

○いたつらにつゞく小春の侘びしけれ　香雪

○歸りませ霜路の旅の句を聞かん　華岳

○松の翠絕ゑて時雨るゝ庵かな　一夢

○秋すぎて夜空は月の澄む程さむざむと　勝男

さむざむと一聲冴ゑて鳥の啼く

○地にひそむものゝ影天かけて翁が姿

北斗莊主人逝ひて寂し山茶花いまひらく

松堂翁近詠

○たまゆらに散る山茶花や香を聽く

○香聽くや白山茶花のひたと散る

○朝寒く柘榴黃葉の日々に減り

○日々の雨に寒しと思ふ花八ッ手

○朝夕に掃くをたのしむ庭落葉

進學者指導上の注意

―父兄及擔任教員の御參考に―

清水生

十一

經、父兄は我が子の小學校の卒業後について自ら個の見識をもち、子供の身體個性傾向等を省みると共に、將來の社會の情勢をも察し、知己近親中相談すべきものにはそれぞれ相談して大體の方針を定め、次に小學校の先生の意見を最も有力なる參考資料とし、徒らに自說を固持せず、さりとて先生の意見にのみ盲從する事なく、彼是考へ合せて入學すべき學校、從事すべき職業を定むべきである

自分の家庭及本人の事情も考へずに是非公立中學校に入れたいとか、誰々があの學校へ志願するから家の子もあの學校へやりたいとかいふやうに、本人に關することゝ以外の外的事情に惑され流行をおひ人の眞似をして、他律的に我が子の入學々校を定めるのは、まことに不見識のことである子供の入學々校の選定はもつと眞劍であらねばならぬこれほど重大なことを他人任せに、或はまだ思慮の淺い子供任せに輕々定めるから、入學後一年もたゝない中に半途で退學せねばならぬやうなものが續出するやうになるのである

又小學校の先生としては自分の擔任の兒童であつて親と共にその子の將來の幸不幸を規制する地位にある者であるから、十分その責任を自覺し、暴君的の或は十把一束の態度に出ないで、一人一人は親から見れば愛の子であり、國から見れば最も尊重すべき第二の國民であることを考へたり、自己の利害などに執着する事なく專橫的の振舞が全く捨てゝ眞のその子の將來を期待して今日まで擔任して居る間に知り得た所の本人の個性才能趣味等に關する觀察を基礎として本人及父兄の希望を篤と聽取つて自分としての意見を立てゝ之を父兄の參考に供すべきである

冬夜

川端杏泉

剃り立ての蒼みがかつた白い顏をして、月は片肩をおとしたまゝ樹の梢に凭りかゝつてゐた

その下を はらばつてゐるやうにくねりながらひとすぢの道が通つてゐた

その道の上を骨組みのあざやかな樹々の影が黑い縞目の投網をうつてゐた

この投網を恐れて虫等は既に遠く逃れ去り、何ひとつ掬へなかつた網の中は波うつて寂寥が擴がつてゐた

其處ではたゞ私が、昨日うしなつた山鳩を探し求めてうろうろしてゐた

時吟

平華生

三味線で軍歌を送る送別會

入營も出征の覺悟意氣高し

入營の孫にヘソ繰りお婆より

職場の寫眞で寒さケシ飛びぬ

暮迫り人も車も飛び廻る

12月7日

△西鄕隆盛生(文政一〇)△兵庫開港勅許(慶應三)△張滿洲國總理、協和會長の資格をもつて内蒙軍援助の意向を表明(昭和一二)

秋涼

珠雲 小野務平

無雨三旬熱未收

仰天大火旱西流

黃昏影濟林頭月

斗覺涼風一颯秋

講談 悲戀 髑髏組(どくろぐみ)

林杢兵衞作 金子士郎畫

(62) 惡緣(九)

『どうしてんだ?』

茂十は、羽織の下の十手を拔きかゝつた

『これはいゝところへ……今女泥棒に財布を盜られましたので……』

『その女は何處へ行つた?』

『へい、確かに此の道へ來たやうに思ふのですが』

暮色に包まれて、もうその邊には見られないお峰の姿を、易者はキヨト〱探し求めてゐる

『どうも足の早い女で……』

『お前は易者だな?』

『へい、左樣』

『その女の顏をよく覺えてゐるのか?』

『覺えてゐるにもなんにも見料を貰つて觀相してゐる隙にやられましたので』

『易者のくせに、それが泥棒とは判らなかつたのか?』

『確かに的中るには的中たんですがね、その女の手相を觀て、近いうちに大金が這入ると云つてやりましたらその通り早速盜られましたので』

『そんなに大金をやられたのか?』

『………』

判然と云はれないところに、後ろ暗さが易者にもある

『その女に心當りがあるから、とに角一緒に番所まで來て呉れ』

『へい、實はその……』

『どうだと云ふんだ?』

『へい〱、參ります』

茂十は參考人として易者を番所へ連れて行つた

巧に逃げたお峰は、表を避けて裏から這入つた。流石にそれ者だけあつて、飽くまで要心深いところがある

まだ寢てゐるとのみ思つて歸つたのに、その刑部が起きてゐた

『こんな暮方に、何所へ行つてゐたのぢや?』

何んとなく落つかないお峰の樣子に、刑部の怪しむやうな此の問だ

『あのう……お神明樣まで一寸お詣りに行つて居りました』

『さうか、それならよかつたが、家出でもしたのではないかと心配してゐた』

『どうして〱御座いますの』

『實は先刻、家主の佐治兵衞が來て、やかましく起したのぢや』

『えゝッ! また、あの大家さんが……』

『うむ、參つた。折角よく寢入つてゐるところをガミ〱と云つてゐたが本當か?』

『は、はい……』

お峰の胸を襲ふ、底氣味の惡い不安に、面が見る〱蒼つて行つた

『そうして、大家さんは何しに參つたので御座います』

『知れてゐる。店賃の催促ぢや。それから其女の事も訊いて居つたぞ』

『……』

(佐治兵衞が、下らぬ事を刑部の耳へ入れたのではないか知ら?)

心配でならないお峰だ

『どんな事を申して居りました』

『實に失禮なことを申し居つたぞ、怪しからぬ奴じや』

『はッ!!!』

(それでは矢ッ張り……)

お峰は、覺悟せずにはゐられない

『何を申しましたか知りませぬが、とるに足らぬあのやうな者の申しますこと、お氣になさらぬがよろしう御座います』

廣告

酒とマヅイ おでんの榮ちやん 平市田町花ノ里 電話三三番

外科(內臟外科及一般外科) X光線科、花柳病 內科、小兒科 岩手醫學士 萬波勳 院長 前田淸美 (自炊ノ便アリ 病室完備) 前田醫院 田町本町電話一二四番

外科、內臟外科 エッキス光線科 新設……產婦人科 院長 安齋徹 醫學士 黑澤廣 入院隨意 平市田町 安齋醫院 電話四七五番

產科 婦人科 醫學博士 五十嵐雄一 病室增築、手術室完備 往診隨時 平市新川町『電話三六九番』

診療科目 一、齒科一般 保存科、補綴科、矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科 一、口腔外科 一、レントゲン科 中野齒科醫院 院長 日本齒科醫學士 中野惠次 日本齒科醫學士 西川誠 (見習看護婦募集) 平市田町(松月堂向ひ)(電話五〇九番)

吸入用酸素 度量衡 モノサシ マス ハカリ 體溫器 寒暖計 開內藥局 電話四〇番

品質第一 電話二六八番 平牛乳舍 平市・九品寺前

出征服特賣 高嶋屋の洋服 新柄背廣 レンコート 注文並ニ既製品 高島屋 平市二丁目 電話三八六番

期節講習生募集 一、開設の趣旨 本講習會は平常家業に從事し研究の時に惠まれざる子女のために地方農閑期を利用して一般家庭に適切なる衣服の裁縫を授るを主眼とし兼ねて婦德の涵養に努むるにあり 一、講習要目及其他 1 講習要目 和服裁縫一般 2 期間 自昭和十二年十二月 至翌年三月 四ヶ月間 3 授業時間 毎日自午前九時至午後四時 4 授業料 月額金一圓 一、寄宿舍 自炊の便あり (外に洋裁の講習もあり) 文部大臣認可 平市 平陽女學校 電話四四五

吉田眼科醫院 醫學士 吉田久雄 平市紺屋町 電話六八番

レストラン サロン 食事 喫茶 酒場を兼ねた 平田町 電三五二

四海に轟く特撰嵐山(トクセンランザン) 平市三丁目 上總屋商店 電話七三一番

東北の銘釀 特撰 嵐山 銘酒 浩氣陶然 山形縣嵐山酒造株式會社釀造

世界に響け防共萬歲

靈効散 胃腸藥 を御試し下さい 或は下痢或は胃腸を害ねたりして三日も四日も便通がなくて頭痛を覺ゆる御方はキヽメの早い 胃腸病。心臟病。腦。痔。淋病藥 三年五年と思ふ慢性胃腸病が全快した人が澤山あります御望の方には見本藥一日分を差上げますから御遠慮なく御來局下さい。 平市古鍛冶町縣社ノ下 處方調劑所 阿康藥局 電話四四番 振替口座東京三〇〇六五番 定價 五十錢 八日分 壹圓 廿日分 御子樣方には飲み易い小兒靈効散があります。

新車のお知らせ 斷然!!! 乘心地いゝ!!! 三七年型フォード 入庫いたしました。是非! 御試乘の程を! 市內四丁目 スヾキタクシー 電二一七番

月曜論壇　平市會に至囑

政治は惡愛とは違ふ、好きとか嫌ひとかで離合すべきで無い。戰爭哲學が宋襄の仁を排するが如く、政治哲學は感情の要素よりも飽迄理性を內容とするものを重視せねばならない。之の意味に於て善良なる市政の運營に就ては如何なる問題にまれより良き檢討攻覈を遂げて若し其間何等かの缺陷があるならば直にそれを改善して市民の市會に對する信賴を取返す事が何よりも肝要である。過般一市議の意見表現形式が適々平市會一部の問題となつて、或は新な波紋を起すではないかと氣遣はれたのが當の本人から釋然たる態度の表明によつて何事も無く圓滿解決を見た事は、常に黨同伐異的の鬪爭に終始し勝ちな議場稀に見る(り細かな光景として當日の傍聽者をして少からず快明な氣分を懷かせたのであつた、卽ち當の釋明が徒に詭辯を弄して責任の紛淆を策せず、理路整然只管その誠意を披瀝した公明さは、道が將來市政一方のイニシアチブを執るべく約束づけられてある少壯有爲の士として寧ろ當然の歸趨であると同時に該問題に關して之と對蹠的の立場に在る人々が之を追究するの執拗に出でず、敢て之事無かりし以前に還り、明朗市政建設の爲に城下の盟を交はした兩々相遜らざる其の雅懷襟度に至つては平市會近來の快心事たるを失はず これを契機として市會に對する市民の信賴を繫ぐ上に於て非常な效果があつた事と確信する。惟ふに市會は『市に關する事件及法律勅令に依り其の權限に屬する事件を議決す』る重大な職務權限を有する。卽ち三十代表の熱意と經綸に囑望信賴する吾人市民の爲、善意無過失以て須く圓滿なる市政の向上伸展を劃し、三萬全市民の福祉開發に鋭意するこそ望ましい。誕生間無いわが平市には前途に橫たはる案件が蓋し一二にしては止まらない、之際多大の敬意を拂つて市議各位の自重加餐を祈つて已まぬ

鐵道關係へ約五萬圓　景氣良いボーナス話
平市在勤八百七十名の笑顔

時節柄銃後の護りを一層强化する景氣の良いボーナス話が、盛んにストーブ會議の話題を賑はして居る昨今、驛をはじめ全部を通じて實に八百七十名と云ふ平市隨一の大世帶を擁する鐵道關係では來る十五、十六日の兩日に亘つて、昇給と賞與と喜びの二重奏がかなでられるので、寒風荒ぶ師走の慌しさをよそに、ここばかりは至つて春風駘蕩のなごやかさを見せてゐる。然らば此の際全員にバラ撒かれる金額は一体どの位か——之を昨年末の實際に就て見ると驛の百七十五名分が一萬六百八十八圓で、機關庫がその三倍と觀て三萬二千圓其他各係の合計が大体驛と同額と概算し之を合計すると何と五萬三、四千圓と云ふ處であるが、時局關係で約五分見當の減額を豫想されてゐるが結局五萬圓を下る樣な事はあるまいと觀測されてゐる

平局　今年もトップか
嬉しい二百の從業員

牛崎局長さんは別として判任官四十名以下二百名の大世帶である平局內でもそろ〳〵嬉しいボーナス話しに花が咲いてゐる、例年市內官廳のトップを切つてゐるボーナス袋は今年もこの十二日頃一齊にバラ撒かれる筈だ。昨年は最高二十割、平均十二三割でこの額約八千兩、今年は果してどの位來るものか、局員は眞赤なストーブの火に額を輝かせながら首を長くして待つてゐるんだが、來て見なくちや判らないですョとマンザラでもない顏つき

町場は月給取り　山間部は年期奉公が多い
卒業兒の求職種々相

明春小學校を巣立つ就職希望兒の斡旋に乘り出した平職業紹介所では既報の如く目下管內連絡小學校から求職兒の一覽表を取纏め中で平第一、內郷等の大口のところが未だ出てゐないので、どの位に上るか判らないが各方面からの求人口も殺到し比較的就職が容易、折柄だけに三百名は突破するものと見てゐる 昨年は最初の申込みが二百餘名であつたが卒業季の切迫と共に希望變へや縁戚關係、周旋入を賴つての就職などがあつて斡施實人員は百三十餘名であつた

求職別を見ると町場のものは會社員（男）交換手（女）など手つ取り早く生活費を生み出さんとするに對し山間方部は槪して年期奉公を望んで居るものが多い、同所では新春早々からこれらの求職別に基いて各方面と連絡、求人口の開拓に當るが就業後も職業指導を行ひ県窗の將來について側面より種々これが補導に努める筈である

縣下小學校長會議　明年は平市で

今六日磐島市に開かれた縣下四市小學校長會議は平市として最初の參加だけに四校長揃つて出席、明年度は平市に開くことに決定

非常時風景　市長さん自ら射擊
補充兵の戰備演習

平市未敎育補充兵の實彈射擊會は昨五日の日曜にトし藤田聯合分會長指揮の下に行はれた、午前七時半百七十五名が第一小學校庭に勢揃ひし漸次神谷方面に向つて戰備行軍を續け終つて十時から東部射擊場で實彈射擊會を行ひ、靑沼老市長が自ら射擊を試みるなど第一回の催しとしては好成績裡に終始した

陣中を聽く　—(39)—
不正確な爆彈を投じ　我が威力に敗走す
市內二丁目出身　田巻重三君　通信

——十一月四日に十日程おりました〇〇〇村を異動いたしまして〇里ばかり先の〇〇村と云ふ處にうつりました、こゝの村落のすぐ〇町位側には〇〇と云ふ河がありまして（丁度植田鮫川の二倍位のものです）深さが二米位の急流です、の河原で十月十二日の戰鬪で支那軍が大打擊を受けた有名な河です

支那軍の大行李が二千輛も補獲され、その死傷數知れず（略）支那軍によつては復仇のつもりか十一月五日に敵機が五機あらはれ爆彈を投下いたしましたが我が〇〇砲のためすぐ逃去りましたが支那空軍とてなか〳〵油斷ができません。その爆彈のため（略）幸ひ我が〇隊には損害もなく鐵橋を今少しでやられるところも無事でした

その後も度々やつて來ましたが〇〇砲の音にて近寄れず、毎日私等も大した仕事もなく呑氣な生活を續け居りました、十一日の午前二時頃突然〇〇名位の支那軍（これは山西省方面より敗れた學生軍です）が我が部落を取卷き盛んに攻擊してきました（略）支那の家は全部煉瓦と土塀で造つてあるためかういふ時には好都合です、戰鬪力のない〇〇兵のためかうするしかありませんでした、これが〇〇ごと處々に居をかまへて居つた（略）氣味の惡い音をきゝながら夜明をまちました、早く援軍來れ（略）幸ひにも支那軍は我々宿舍を通り起して〇〇〇〇を取かこみ盛んに射擊を續けました、〇〇とも皆我々と同じ思ひでした、それでも〇〇〇〇には（略）で應戰いたしましたがなか〳〵退去いたさず我等は宿舍の中にて一時はどうなることかと心配でなりませんでした、そのうち夜も明け渡り敵兵も不利と見てか山岳方面に退却いたしました、幸ひにして兵には犧牲者なく濟みました（未完）

彈下に活躍
木村守江軍醫通信

——十月三日〇〇〇〇に敵前上陸して以來、猛烈なる塹壕戰、第一線部隊として活躍すること二十餘日、〇〇〇地占領後十一月三日より〇〇鎭方面〇〇宅の守備となり候。併し守備とは名のみにして連日連夜砲彈の下を潜り乍ら傷者の爲に微力を盡してゐます。幸にも益々元氣です。御安心下さい　（後略）

植田商業組合創設

植田各商店を網羅する綜合的商業組合は會員百三名、今六日午前十時から小學校で創立總會を開いた 總株數四百七株、一口三十圓、今後は共同仕入、共同購入其他の事業でその發展をはかる

第三勝つ
小學敎員籠球戰

平並に郡下小學校敎員籠球大會は昨五日平第一小學校に開いたが參加十校で熱戰、決勝に平第一、第三兩校が殘つたが遂に第三チームに凱歌あがつた

純國產機二台設置　入山發電所竣功す
試驗終了　全山に配電開始

既報、總工費百二十萬圓、昨年十一月着工して順調に進捗してゐた入山炭礦發電所はまる一年餘の日子を費して十一月中旬その功成り試驗配電、遞信省の試驗を終へていよ〳〵今月から全山に配電を開始した 該發電所は東京三菱製純國產エングストロームタービン機（二十八萬圓）二台を備へつけて發電能力五千六百キロワット

これによつて從來同礦が日立、二本松兩會社へ支拂つてゐた莫大な經費が節減されるわけである 尙同礦では掘鑿費の輕減をはかり、いま全國的石炭不足に惱んでゐる折柄需要者側との圓滑をはかつて六坑々外に五萬八千餘圓で復動型卷揚機（五百馬力）を設備、出炭能力の增進を期すことゝなつてゐる

瀧少尉（磐崎）白衣の凱旋

上海戰線に不滅の殊勳をたて名譽の戰傷を負つた本郡磐崎村出身瀧藤勝少尉、飯野村出身菅野久治郞上等兵外八勇士は白雪の軍都〇〇市に白衣の凱旋をなし官民多數の出迎へを受け〇〇陸軍病院に入院した

堀吉彦少將來平
十日第三で講演會

平市役所、在鄉軍人分會では昨今の時局に鑑み市民の〇意氣を鼓舞するため來る十日午後一時から第三小學校講堂に軍事講演會を開く講師は帝國在鄉軍人會本部參與、國防婦人會理事堀吉彦少將である、一般の來聽歡迎

植ゑてうれしい　田町の街路樹
市內舖道最初の試み

市內大田町（市役所前）通りの三線道路を飾る街路樹は今六日から移植を開始したが何せ平市舖裝通り最初の試みだけに明春新芽ふく頃の美觀を豫想されてゐる これは田町區民の寄附にかゝるプラタナス四十本に平市として三十本を加へ合計七十本である

銀紙獻金　市內田町第二小學校六年三組生吉成テルちやんは銀紙約一貫匁を「兵隊さんの慰問金にして下さい」と市役所へ

四丁目青年團獻金　市內四丁目靑年團では先頃の火事に活動、見舞金として五圓贈られたが時局柄國防金として團長猪狩正成氏から藤田聯合分會長へ寄託、直に聯隊區司令部へ送付した

。。。。。**小名濱町議出縣**　小名濱町議十名は目下開會中の縣會傍聽旁々今六日出縣

磐中教練查閱
佐藤二九聯隊長來平

磐城中學校敎練查閱は明七日午前八時半から步兵第二十九聯隊長佐藤大佐によつて執行するが全校千二百の生徒が嚴寒の高月台上に一糸亂れぬ訓練振りに大に軍國氣分を强調するものと豫想さる

川部無集配局に昇格　川部郵便取扱所は來る十六日から無集配局に昇格改定される、局長に現郵便取扱所長が昇格する筈

賭博團送檢　平署に擧げられた小名濱町小名濱一家を中心とする賭博團は關係者四十五名の多きに上り取調べ一段落を告げたので今六日身柄三十名と共に一件書類を送檢した

。。。。。**市町村財務主任會**　濱通り市町村財務主任會は明後八日午前九時から浪江小學校に開くが平市からは須藤縣稅主任が出席の筈

話の種　一寒さもいよ〳〵本格になつて來た。起きて見るとバケツに部厚い氷がはつて、磐の閼伽井嶽から吹きおろす空つ風には午近く小雪がちらついた、夕方になつて乾した洗濯物はいつの間にかバカ〳〵に凍れる騷ぎ——昨日にも優るけふの寒さ、師走もはや六日である

最新式穴の傷まぬ　洋式ドンコ帳簿　一圓、一圓八十錢　二圓五十錢
書く手間が要らぬ　デリカ切拔き　住所錄（入名簿）　二〇〇名、三〇〇名　五〇〇名、一千名、各種
魁文堂　電話313番

七日（小名濱測候所發表）
滿潮　前七、四〇　後五、三五
干潮　前〇、三五　後〇、三五

舊十一月五日　火曜　戊辰　先負　定　翼宿　新十二月七日

諸判定應需　東京市本郷區湯島四丁目　高島易斷總本部　神誠館

▲一白　行過ぎて後戻りするか如し氣をゆるめず進め▲二黑　中途にて輟じぶする事あるも辛抱大切と勵め▲三碧　思はず知らず力以上に進みて處置に苦む日▲四綠　利を收めて一段落濟めば後はひかゆるが安全▲五黃　名利を思はず徳を積みて靜かなるによろし▲六白　從來の骨折りもこゝに至りて實現の喜ある日▲七赤　傍目もふらず直進するが得さく相談事も成る▲八白　遲たいする事ありとも氣をくじかず勵むがよし▲九紫　活氣を振ひ起して難にたゆれば功績をあぐ

廣告
高久病院　院長　高久忠　電話五一三番

時代の要求　皆樣の足!!
尼子タクシーへも豆タクが入りました
御玄關から玄關へ…迅速簡便　是非御利用を……。
市內…三〇錢　市外…四割引
流線型セダン、大型貸切バス
宮行ー直通は二丁目尼子自動車部より發車いたします。
平市二丁目　尼子自動車商會　電話六四〇番

耳鼻咽喉科專門
（入院隨意　病室完備）
平市南町一六番地　大和田醫院　電一七〇番

晝夜診療
外科一般　內臟外科　レントゲン科　泌尿器科
北川外科
〔血液檢查每日〕イツデモ入院デキマス。
平市新川町〔電四六四〕　醫學博士　北川芳夫　技師　三浦常保

十二月五日より
七五三祝着と歲暮大賣出し
特賣品
松山紺カスリ　一圓七十錢
パラマント新柄　一圓五十錢
白時兩毛ネール　一丈　八十錢
名古屋帶　一圓五十錢均一
銘、仙　二圓均一
三井吳服店　電38番248番

和洋　建具　家具　テーブル　椅子
其他裝飾品一般……御用命は迅速に御努め致します。
諸官衙　各學校　御用達
製作販賣
平市五丁目四　片寄製作店　片寄小彌太　電話四八四番
十五、六歲以上の見習徒弟募集　御希望の方は至急申込下さい。